

MOVE THE WORLD FORWARD

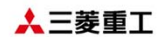
MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP



2017年度第2四半期 決算説明資料

2017年10月31日
三菱重工業株式会社

© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.



CFOの小口です。

2017年度第2四半期決算の概要について説明します。

I. 2017年度第2四半期決算実績

・決算実績サマリー	3
・セグメント別内訳	4
・貸借対照表	5
・主要財務指標／キャッシュ・フロー	6
セグメント情報	
・受注高・受注残高	7
・売上高	8
・営業利益	9

II. 2017年度業績見通し

・業績見通しサマリー	11
・セグメント別内訳	12

III. 補足資料 14-18

I . 2017年度第2四半期決算実績

第2四半期決算実績 サマリー



(単位: 億円)

	'16-2Q累計 (利益率)	'17-2Q累計 (利益率)	増減 (増減率)
受注高	16,644	16,005	△ 638 (△ 3.8%)
売上高	17,505	18,254	+749 (+ 4.3%)
営業利益	(2.2%) 384	(2.1%) 382	△ 1 (△ 0.5%)
経常利益	(△0.1%) △ 18	(2.3%) 412	+430 -
特別損益	△ 127	△ 47	+80 -
親会社株主に帰属する 当期純利益	(△1.1%) △ 189	(0.7%) 135	+324 -
EBITDA	(7.2%) 1,263	(7.1%) 1,292	+29 (+ 2.3%)

'17-2Q累計特別損益
(△47)の内訳

【特別損失】

・事業構造改善費用 △47

以下の営業外収益を含む

・為替差益 70 (+188)

・持分法投資利益 20 (+224)

※()内は対前年同期比増減

© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

3

サマリーについて説明します。

受注高は前年同期より638億円減少し、1兆6,005億円となりました。前年同期にMRJの受注があったことなどが主な要因です。

売上高は前年同期より749億円増加し、1兆8,254億円となりました。

営業利益は、ほぼ前年同期並みの382億円となりました。売上総利益が増えた一方で販売費及び一般管理費が増え、両者が打ち消し合う形になりました。

経常利益は前年同期より430億円増加し、412億円となりました。前年同期に為替差損が生じたのに対し、当年度は逆に為替差益となったこと、また前年同期は三菱自動車工業(2016年度第1四半期まで持分法適用会社)に係わる持分法投資損失を△188億円を計上した一方、当年度はそれがなくなったことなどにより、大きく改善しています。

特別損益では、事業構造改善費用として△47億円を計上しました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期より324億円増加し、135億円となりました。

EBITDAは、ほぼ前年同期並みの1,292億円となりました。

第2四半期決算実績 セグメント別内訳 (※)



(単位: 億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	'16-2Q 累計	'17-2Q 累計	増減	'16-2Q 累計	'17-2Q 累計	増減	'16-2Q 累計	'17-2Q 累計	増減
パワー	5,918	5,845	△ 72	6,486	6,300	△ 186	302	121	△ 180
インダストリー& 社会基盤	7,739	7,625	△ 114	7,930	8,825	+894	122	269	+147
航空・防衛・宇宙	2,931	2,527	△ 404	3,033	3,160	+126	0	29	+29
その他	719	604	△ 114	785	607	△ 178	37	25	△ 12
消去または共通	△ 665	△ 597	+68	△ 731	△ 638	+93	△ 78	△ 64	+14
合計	16,644	16,005	△ 638	17,505	18,254	+749	384	382	△ 1

(※) 2017年4月1日付で実施した組織再編および事業再配置に伴い、報告セグメントを変更しております。

© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

4

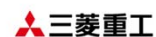
セグメント別の状況について説明します。

受注高は、前ページで説明しましたとおり、前年同期にMRJの受注があったことを主な要因として、航空・防衛・宇宙セグメントで前年同期より404億円減少しています。

売上高は、主にインダストリー＆社会基盤セグメントで増加しました。特にターボチャージャやフォークリフト、冷熱などの中量産品が前年同期に比べて伸びています。航空・防衛・宇宙セグメントの売上高も増加しています。一方、パワーセグメントの売上高は減少しました。

営業利益は、パワーセグメントで前年同期より180億円減少しています。第1四半期決算においても説明しましたとおり、原子力事業における利益が今年度は下半期に集中する見通しであることが主な要因です。一方、インダストリー＆社会基盤セグメントにおいては、中量産品を中心とした売上高の伸長に伴い、前年同期より147億円増加しています。防衛・航空・宇宙セグメントではMRJの研究開発費が増加した一方、民間航空機のコスト改善が進んでいることなどから、セグメント全体では前年同期より29億円増加しています。

第2四半期決算実績 貸借対照表



貸借対照表

(単位:億円)

	'16-2Q末	'16年度末	'17-2Q末	対前年度末 増減
売上債権	10,584	11,801	11,767	△33
たな卸資産	14,282	13,255	13,865	+610
その他流動資産	9,184	10,163	※ 10,688	+525
固定資産	12,473	11,845	11,709	△135
投資等	6,476	7,753	7,964	+211
資産合計	53,001	54,819	55,996	+1,177
買入債務	7,452	8,360	7,753	△606
前受金	7,364	7,776	7,752	△23
その他	7,578	8,353	7,908	△444
有利子負債	11,821	9,255	10,984	+1,728
純資産	18,784	21,072	21,597	+524
(うち自己資本)	(15,796)	(17,826)	(18,345)	(+518)
負債・純資産合計	53,001	54,819	55,996	+1,177

※ 南アフリカプロジェクトに係る資産
3,448億円を含む

短期借入金 +261
コマーシャルペーパー +1,960
社債(1年内含む) △400
長期借入金(1年内含む) △92
・対前年度2Q末比では△837

配当 △201
純利益 +135
その他の包括利益 +485 他
(その他有価証券評価差額金等)

© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

5

バランスシートの状況について説明します。

当社は、バランスシートの圧縮による経営効率の向上と、キャッシュフローを黒字化することを基本方針としています。

第2四半期末時点における総資産は、前年度末より1,177億円増加し、5兆5,996億円となりました。これには、MRJ事業に係る投資、南アフリカプロジェクトの進展に伴う関連資産の増加などが含まれています。

負債側では、この総資産の増加を一時的に短期の有利子負債で補っている状況です。有利子負債は前年度末より1,728億円増加し、1兆984億円となりました。当社のキャッシュフローは例年、第3四半期に底を迎え、第4四半期に大きく取り戻す傾向があります。この観点から、有利子負債残高を前年度第2四半期末時点と比較すると、837億円減少しています。

また、自己資本が増加しているのは、純利益の計上に加え、昨今の株高を受け、その他有価証券評価差額金が増加していることなどによるものです。

第2四半期決算実績 主要財務指標／キャッシュ・フロー



主要財務指標

	16-2Q末	'16年度末	'17-2Q末	対前年度末 増減	'17年度 見通し
自己資本比率	29.8%	32.5%	32.8%	+0.3pt	-
有利子負債残高 (単位:億円)	11,821	9,255	10,984	+1,728	8,500
D/Eレシオ	0.63	0.44	0.51	+0.07	-

キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	'16-2Q 累計	'17-2Q 累計	増減	'17年度 見通し
営業CF	△ 1,183	△ 1,108	+75	-
投資CF	△ 987	△ 754	+232	-
フリーCF	△ 2,170	△ 1,862	+307	1,000

© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

6

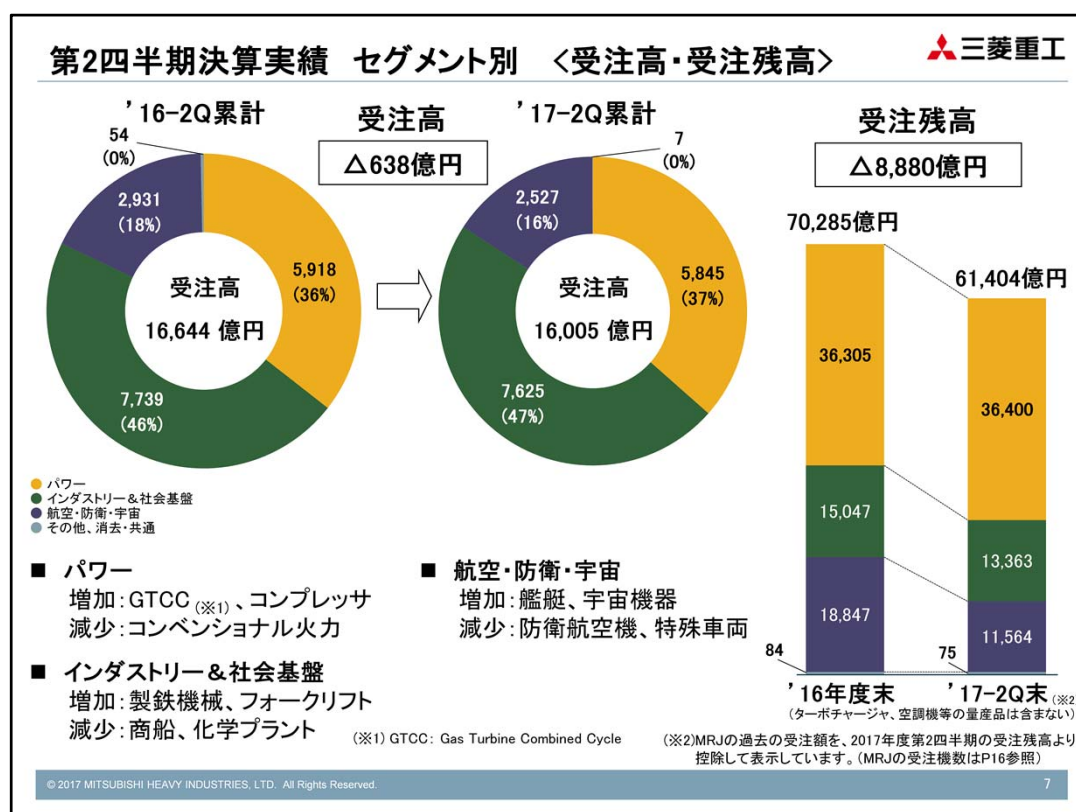
バランスシート状況を踏まえ、主要財務指標について説明します。

自己資本比率は32.8%となり、前年同期末の29.8%から改善し、健全に推移しています。

有利子負債残高については、前ページで説明しましたとおり、前年同期末との比較では減少しています。D/Eレシオは0.51となりました。

これらを裏付けるキャッシュフローについて説明します。

当社のキャッシュフローは例年、第1四半期から第3四半期にかけてマイナスで推移し、年度末に取り戻す傾向にあります。第2四半期累計のフリーキャッシュフローは前年同期より307億円改善し、△1,862億円となりました。年間見通しの1,000億円の達成に向け、様々な施策を推進しています。

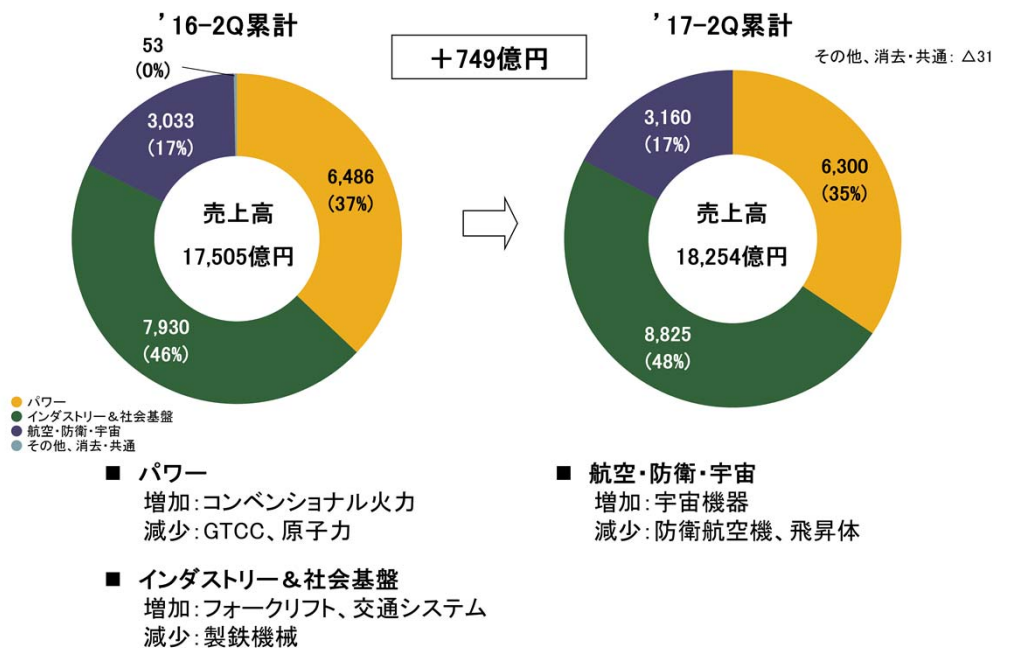


受注高・受注残高、売上高、営業利益のセグメント別内訳について説明します。

受注高は、4ページで説明しましたとおり、航空・防衛・宇宙セグメントで減少していますが、パワー、インダストリー&社会基盤の両セグメントはほぼ前年同期並みとなりました。

受注残高については、今回からMRJの過去の受注額を控除する形で表示することにいたしました。売上高の先行指標としての受注情報の有用性の観点や、他の完成機メーカーの開示方法も参考に、今回再整理を行ったものです。なお、MRJの累計受注機数については16ページに掲載しています。

第2四半期決算実績 セグメント別 <売上高>

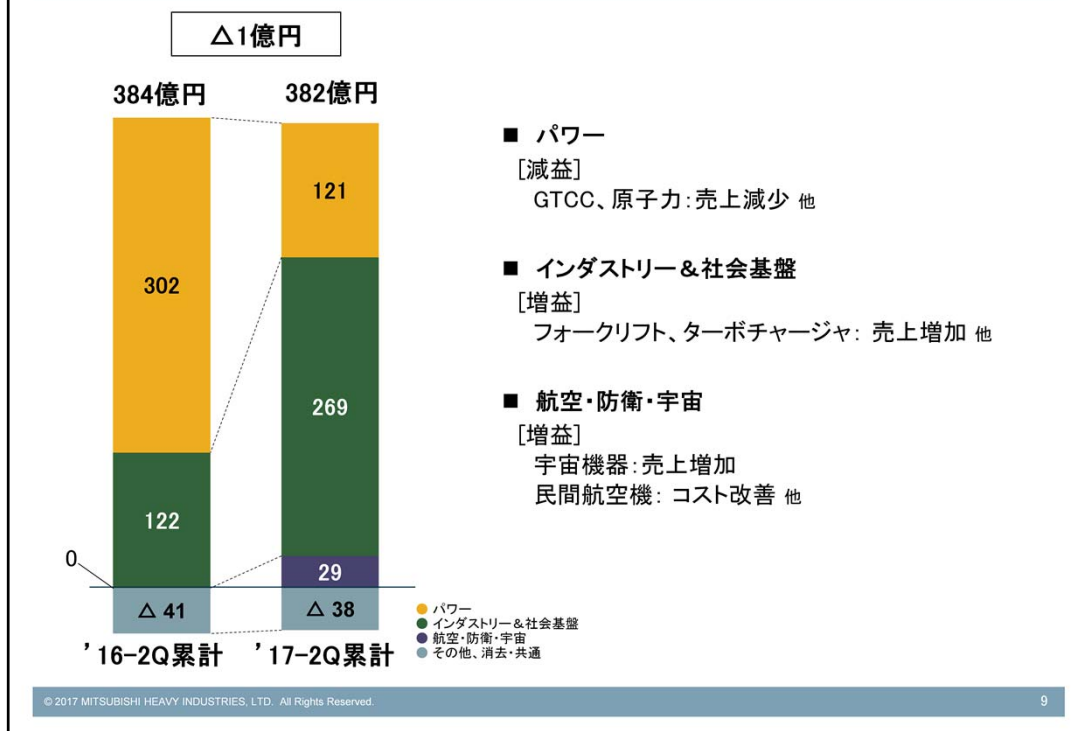
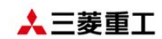


© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

8

売上高についてはご覧のとおりです。インダストリー&社会基盤セグメントで、フォークリフト等の中量産品を中心に増加しています。

第2四半期決算実績 セグメント別 <営業利益>



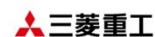
営業利益は、パワーセグメントが原子力事業の売上計上時期の関係などから低位にとどまった一方、インダストリー&社会基盤セグメントの増益がこれをカバーし、全体ではほぼ前年同期並みとなりました。

原子力事業については、年度では回復するものと考えています。

Ⅱ．2017年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
従いまして、この業績見通しの上に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。
実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おください。
実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2017年度業績見通し サマリー



(単位:億円)

	'16年度実績 (利益率)	'17年度		対前年度増減 (増減率)
		今回見通し (利益率)	前回見通し (2017年7月31日)	
受注高	42,756	40,000	45,000	△ 2,756 (△6.4%)
売上高	39,140	40,500	41,500	+1,359 (+3.5%)
営業利益	(3.8%) 1,505	(4.4%) 1,800	2,300	+294 (+19.6%)
経常利益	(3.2%) 1,242	(4.2%) 1,700	2,100	+457 (+36.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	(2.2%) 877	(2.0%) 800	1,000	△ 77 (△8.8%)
R O E	5.1%	4.4%	5.5%	△0.7pt
EBITDA	(8.7%) 3,398	(9.1%) 3,700	4,300	+301 (+8.9%)
フリーCF	1,046	1,000	1,000	△ 46 (△4.4%)
配当 (株式併合後換算、 1株あたり)	(※) 120円 (中間60円/期末60円)	(※) 120円 (中間60円/期末60円)	【未確定外貨】 6億ドル 3億ユーロ	【前提為替レート】 1ドル = 110円 1ユーロ = 130円

第2四半期実績や事業環境等を踏まえ、前回公表値から見直し

(※) 当社は、2017年10月1日付で株式併合(10株→1株)を実施しました。2016年度の配当実績は1株あたり12円(中間6円/期末6円)、2017年度の中間配当は1株あたり6円ですが、本資料上は配当予想との比較のため、いずれも当該株式併合実施後の配当金に換算して記載しています。

© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

11

2017年度の業績見通しについて説明します。

ここまで説明してきました状況や、直近の受注環境等を踏まえ、見通しを修正いたしました。

受注高は4兆5,000億円としていましたが、今回はこれを5,000億円下方修正し、4兆円としました。パワーセグメントにおいて今年度に受注を見込んでいた複数の大型案件について、環境アセスメントやファイナンスクローズなどを理由に、今年度中の受注が難しくなり、来年度以降にずれ込む見通しとなりました。加えて、火力発電システム事業においては市場が厳しい状態にあります。こうした要因を踏まえ、同セグメントの受注見通しを1兆9,500億円から1兆4,500億円に下方修正しました。

売上高は4兆1,500億円としていましたが、今回1,000億円下方修正し、4兆500億円としました。パワーセグメントの受注状況が短期の契約も含め厳しめに推移していることを受け、売上高も引き下げました。

営業利益は2,300億円としていましたが、今回はこれを500億円下方修正し、1,800億円としました。主にパワーセグメントにおける売上高の下方修正等に伴うもので、同セグメントで450億円下方修正しています。また、インダストリー＆社会基盤セグメントにおいて、化学プラントで課題を抱えていた案件が終了したことに伴う若干のコスト悪化があり、これを踏まえ同セグメントで50億円下方修正しています。

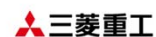
以上を踏まえ、経常利益は2,100億円から400億円下方修正し1,700億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,000億から200億円下方修正し800億円としました。

またROEは5.5%から4.4%に、さらにEBITDAは4,300億円から3,700億円にそれぞれ下方修正しています。

フリーキャッシュフローについては、アセットマネジメントを含め様々な施策を推進していますので、現状においては1,000億円の見通しを据え置いています。

配当については、本日の取締役会で中間配当を1株あたり6円(株式併合前)とすることを決定しています。10月1日付で株式併合(10株→1株)を実施しましたが、年間の配当予想は株式併合前の1株あたりに換算すると12円、併合後の1株あたりに換算すると120円を予定しています。

2017年度業績見通し セグメント別内訳 (※)



(単位: 億円)

	受 注 高				売 上 高				営業利益			
	'16年度 実績	'17年度 今回 見通し	前回見通し (7月31日)	対前年度 増減	'16年度 実績	'17年度 今回 見通し	前回見通し (7月31日)	対前年度 増減	'16年度 実績	'17年度 今回 見通し	前回見通し (7月31日)	対前年度 増減
パワー	17,263	14,500	19,500	△ 2,763	14,484	15,500	16,500	+1,015	1,081	1,000	1,450	△ 81
インダストリー& 社会基盤	15,903	19,000	19,000	+3,096	17,470	18,500	18,500	+1,029	500	800	850	+299
航空・防衛・宇宙	9,550	6,000	6,000	△ 3,550	7,034	6,500	6,500	△ 534	9	100	100	+90
その他	1,604	1,500	1,500	△ 104	1,759	1,500	1,500	△ 259	107	100	100	△ 7
消去または共通	△ 1,566	△ 1,000	△ 1,000	+566	△ 1,607	△ 1,500	△ 1,500	+107	△ 193	△ 200	△ 200	△ 6
合計	42,756	40,000	45,000	△ 2,756	39,140	40,500	41,500	+1,359	1,505	1,800	2,300	+294

- パワーを中心に見直し
- インダストリー&社会基盤、航空・防衛・宇宙は大きな変化なし

(※) 2017年4月1日付で実施した組織再編および事業再配置に伴い、報告セグメントを変更しております。

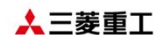
業績見通しのセグメント別内訳はご覧のとおりです。

前ページで説明しましたとおり、現状の状況を踏まえ、パワーセグメントを中心に受注高、売上高、営業利益を修正しています。

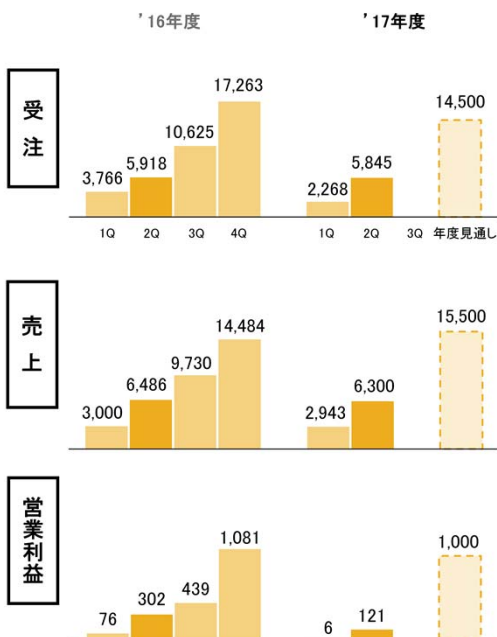
以上で、2017年度第2四半期決算の説明を終わります。

Ⅲ. 補足資料

補足資料① 第2四半期決算実績 <パワー>



(億円・各期の数値は累計)



受注 : 対前年同期△72億円の減少

増加…GTCC^(※)、コンプレッサ

減少…コンベンショナル火力

(※) GTCC: Gas Turbine Combined Cycle

【ガスタービン受注台数】

'16-2Q累計 : 9台

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	4	2	-	2	8
中小型	-	1	-	-	1
合計	4	3	0	2	9

'17-2Q累計 : 5台

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	-	2	-	2	4
中小型	-	-	-	1	1
合計	0	2	0	3	5

【ガスタービン契約残台数】

	大型	中小型	合計
'16-2Q末	38	30	68
'16年度末	43	14	57
'17-2Q末	43	13	56

売上 : 対前年同期△186億円の減収

増加…コンベンショナル火力

減少…GTCC、原子力

損益 : 対前年同期△180億円の減益

減益…GTCC、原子力: 売上減少 他

年度見通し

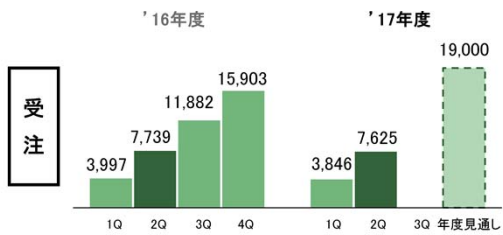
受注 : 19,500億円から14,500億円へ変更

売上 : 16,500億円から15,500億円へ変更

営業利益 : 1,450億円から1,000億円へ変更

補足資料① 第2四半期決算実績 <インダストリー & 社会基盤> 三菱重工

(億円・各期の数値は累計)



受注 : 対前年同期△114億円の減少

増加…製鉄機械、フォークリフト
減少…商船、化学プラント

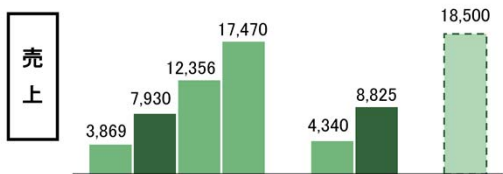
【商船 受注隻数】

'16-2Q累計 : 6隻 (1Q:4隻、2Q:2隻、3Q:0隻、4Q:3隻)

'17-2Q累計 : 2隻 (1Q:1隻、2Q:1隻)

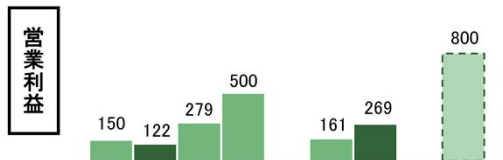
【商船 契約残隻数】29隻

(LNG船 10隻、LPG船 4隻、RO-RO船 4隻 他)



売上 : 対前年同期+894億円の増収

増加…フォークリフト、交通システム
減少…製鉄機械



損益 : 対前年同期+147億円の増益

増益…フォークリフト、ターボチャージャ: 売上増加 他

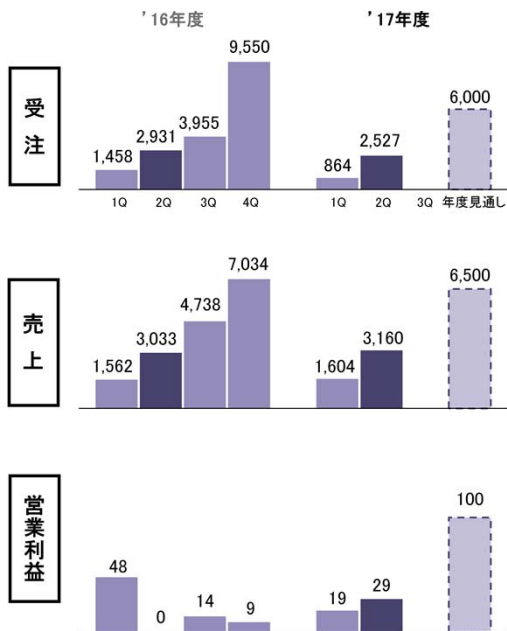
年度見通し

営業利益 : 850億円から800億円へ変更

補足資料① 第2四半期決算実績 <航空・防衛・宇宙>



(億円・各期の数値は累計)



受注 : 対前年同期△404億円の減少

増加…艦艇、宇宙機器

減少…防衛航空機、特殊車両

【MRJ 累計受注機数】

427機 (確定 233機、オプションおよび購入権 194機)

売上 : 対前年同期+126億円の増収

増加…宇宙機器

減少…防衛航空機、飛昇体

【B777 引渡機数】

'16年度(実績) : 91機 (1Q:27機、2Q:24機、3Q:19機、4Q:21機)

'17年度(見通し) : 57機 (1Q:17機、2Q:15機、3~4Q:計25機[予定])

【B787 引渡機数】

'16年度(実績) : 125機 (1Q:36機、2Q:31機、3Q:25機、4Q:33機)

'17年度(見通し) : 141機 (1Q:36機、2Q:36機、3~4Q:計69機[予定])

損益 : 対前年同期+29億円の増益

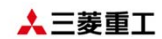
増益…宇宙機器 : 売上増加

民間航空機 : コスト改善 他

年度見通し

変更なし

補足資料② 参考データ



1. 研究開発費、減価償却費、設備投資

	'16-2Q累計	'17-2Q累計	(単位:億円) '17年度 見通し
研究開発費	660	616	1,700
減価償却費	798	828	1,800
設備投資	937	712	2,000

2. 販売費及び一般管理費

	'16-2Q累計	'17-2Q累計	(単位:億円)
販管費	2,819	2,906	

3. 為替レート(売上計上平均レート)

	'16-2Q累計	'17-2Q累計
USドル(円/USドル)	106.7	111.3
ユーロ(円/ユーロ)	117.4	125.7

4. 海外地域別売上高

(単位:億円)

	'16-2Q累計		'17-2Q累計	
北米	3,191	(19%)	3,296	(18%)
アジア	2,880	(16%)	3,176	(18%)
欧州	2,049	(12%)	1,904	(10%)
中南米	423	(2%)	720	(4%)
中東	559	(3%)	709	(4%)
アフリカ	565	(3%)	399	(2%)
オセアニア	153	(1%)	145	(1%)
合計	9,824	(56%)	10,351	(57%)

※ ()内は構成比

5. 所在地別セグメント情報

(単位:億円)

		'16-2Q累計	'17-2Q累計
日本	売上高	13,349	13,697
	営業利益	288	241
北米	売上高	2,174	2,268
	営業利益	28	45
アジア	売上高	1,709	1,938
	営業利益	148	137
欧州	売上高	1,813	1,810
	営業利益	△ 77	△ 34
その他	売上高	432	518
	営業利益	△ 3	△ 7
消去または共通	売上高	△ 1,974	△ 1,978
	営業利益	-	-
合計	売上高	17,505	18,254
	営業利益	384	382

MOVE THE WORLD FORWARD

**mitsubishi
heavy
industries
group**

© 2017 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.